

## 一般社団法人室内環境学会 平成 30 年度 第 2 回通常理事会議事録

日 時：平成 30 年 9 月 27 日（木）14:00～16:00

場 所：(株) アイデック 3 階 会議室

出席者

理事：関根嘉香（理事長）、山口 一、川崎たまみ、鍵 直樹、水越厚史、一條佑介、Tin Tin Win Shwe

オブザーバー：野口美由貴、佐藤 博

事務局：中島大介（事務局長）、松木秀明（会計代理）、橋本一浩、色摩 操

欠席：篠原直秀、三宅祐一、小沼ルミ

本理事会は総理事数 9 名のうち過半数である 7 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は関根理事長が務めた。

議事次第：

1. 平成 30 年度第 1 回臨時理事会議事録 → 承認された。

2. 平成 30 年度決算報告（暫定）

色摩事務局員より H30 年度第 6 期会計決算（8 月 11 日時点での暫定）が報告された。当初の予定通り H30 年度収支については約 70 万円の支出過多を見込んでいるとのことで承認された。

3. 平成 31 年度予算案

関根理事長より平成 31 年度事業予算案が提案された。2020 年大会（沖縄）での国際シンポジウム費用、事務局移転諸費用等が計上され、約 60 万円程度の赤字予算。承認された。

4. 平成 31 年度事業計画案

関根理事長より平成 31 年度事業計画案について、今年度方針を継続する内容で提案され、了承された。

5. 平成 30 年学術大会準備状況

鍵大会長より、資料に基づき H30 年学術大会の準備状況が説明され、各理事と意見交換された

- ・評議員会は 5 日、16:00～17:30、総会は 6 日 13:30～15:00
- ・シンポジウムは「室内環境のその先」。6 日 15:00～17:30
- ・学生懇談会は「将来の仕事感」。6 日 13:30～14:30
- ・分科会は環境過敏症分科会が担当。6 日 10:00～12:00。「環境過敏症の現状と発症予防対策について考える（仮題）」。コーディネーターは北条祥子代表、水越厚史幹事
- ・機器展示企業のプレゼンは、今年も時間があれば行う。ポスター発表が多くなっており、全員がポスター講演すると冗長になるため、発表は学生だけに限定する案が出され、了承された
- ・演題登録数はポスター発表 83 題、口頭発表 63 題

6. 各委員会報告

学術委員会：篠原委員長に代わり水越委員が代理報告。研究助成の応募が少ないことを考慮し、従来の研究助成に代わり新たな表彰制度の導入を検討中。本会の現行表彰制度を整理し、他学会の表彰制度を調査した結果、以下が提案された。

- ・本会には論文賞、大会奨励賞はあるが、学術賞、奨励賞等に相当するものがない。
- ・上記2点を新設し、個人向けの賞金を出すことを想定。
- ・冠賞：調査研究助成基金を寄付いただいた団体名を冠にした表彰。

学術賞、奨励賞は年齢制限をそれぞれ設け、これまでの会誌掲載数、学会発表演題数、その他のポイントを考慮することなどを検討中と報告された。これに対し、単純に発表件数では、大学等が必然的に多くなるので何らかの考慮が必要であるなどの意見が出席者から出された。また、学術的な業績、実用的な功績等、偏らないような工夫を求める意見があり、引き続き学術委員会で検討することとなった。

標準法認定管理委員会：鍵委員長より、相談案件が1件あり、標準法として検討対象となるかどうか、検討しているとの報告があった。出席者から鉄道関係でも相談案件が複数あるとの発言もあった。特許に馴染まないプロトコールなど、本会の標準法認定が有効な場合があるとのこと。

事業委員会：山口委員長より、9月開催のJASIS2018講演会の収支について、参加者47名で4.7万円黒字と報告された。なお、「クリーンテクノロジー」誌が本講演会のタイトル・演題・演者と全く同一の特集号を企画していることが判明。同誌に対し、経緯の説明、事前の連絡がなかったことへの謝罪、再発防止の確約及び大阪での講演会の広告掲載を申し入れた旨報告があった。また、永年賞について株式会社アイデックが受賞対象であるとの説明があった。

広報委員会：水越委員長より来年度のチラシについて報告があった。今回から印刷せずに電子データで配布するとのこと。また、学会誌広告・バナー広告申し込み状況は学会誌5社、バナー6社とのこと。

## 7. 韓国室内環境学会参加報告

関根理事長より、2018年9月18日に開催された韓国室内環境学会の参加報告があった。MOUにより、2019年は日本開催（沖縄）の予定。なお、Indoor Air 2020はソウルで開催予定とのこと。

## 8. 定款の改正について

中島事務局長より定款変更について以下の通り提案され、了承された

- ・第1章総則について、事務所住所を墨田区→文京区に変更する案
- ・第6章理事会について、テレビ会議システム等も可とする変更案
- ・第6章理事会について、電磁的記録による可決を認めるとする変更案

## 9. その他

- ・大会申し込みと発表の間に年度を跨ぐのが混乱を招いているとの指摘があった。事務局で会計年度の見直しも検討するよう指示があった。
- ・事務局より平成30年3月～平成30年9月の入会希望者のリストが提出され、全員の入会が承認された。
- ・会員動向として、平成30年9月21日時点で正会員377名、法人会員48社（団体）、学生会員69名、シニア会員9名であると報告された。
- ・名誉会員候補に池田耕一会員、柳澤幸雄会員が推挙され、両会員の意思を確認することとなった。
- ・論文賞は現在、選考委員会により選考中。
- ・査読者賞もこの後、検討する予定。
- ・2020年大会の開催は東北支部を候補に検討を開始。

以上

署名欄

関根嘉香

印

山口 一

印

川崎たまみ

印

鍵 直樹

印

水越厚史

印

一條佑介

印

Tin Tin Win Shwe

印